

とりかけにしかいつか 取掛西貝塚 国史跡指定へ!

令和3年(2021年)10月11日、取掛西貝塚が国史跡に指定されました。日本中にたくさんある遺跡の中で、特に価値のある遺跡は、国の「史跡」として保護されます。

東京湾東岸部に位置する取掛西貝塚では、平成11年(1999年)から発掘調査を行い、平成20年(2008年)に約1万年前の貝塚が初めて発見されました。市はこの大切な遺跡を未来に残すため、遺跡の保存に取り組んでいます。

本号では、市で初めて国史跡に指定された取掛西貝塚について紹介します。

1万年前の世界をのぞいてみよう!

取掛西貝塚は、飯山満町と米ヶ崎町にまたがる標高約25mの台地上にあります。畑のわずかに30cm下のところに、長い間眠っていました。遺跡は東西500mの台地全体に広がり、面積は約76,000㎡(東京ドームの約1.6倍)あります。

全国的にも貴重な約1万年前の縄文時代早期の遺跡であり、この遺跡から約1万年前の暮らしと環境が見えてきました。

▲空から見た取掛西貝塚(黄色の点線内で遺跡が見つかりました。)



▲貝塚には縄文人が食べたあとの貝殻がぎっしり!動物の骨も捨てられていました。



もっと知りたい! もっと学びたい!



現在の取掛西貝塚は、発掘調査後に埋め戻され、大部分が畑として耕作されているため、現地で遺跡を見ることはできません。しかし、取掛西貝塚について知ることができるパンフレットやリーフレットが市内の図書館・郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館でも入手できます。ぜひ、ご覧ください。

左図のパンフレットは、市立小・中・特別支援学校に配付されています。

飛ノ台史跡公園博物館



縄文時代を中心に、市で発掘された遺物などが保管されている飛ノ台史跡公園博物館では、取掛西貝塚で見つかった貝塚の一部を展示しています。

〒273-0021 船橋市海神4-27-2 電話:047-495-1325
休館日:月曜日・祝日の翌日(土曜日・日曜日は除く。5月3日から5日は開館。)・12月29日から1月3日まで。

わが校の給食自慢レシピ 葛飾小学校編 『ボルシチ』



材料(4人分)

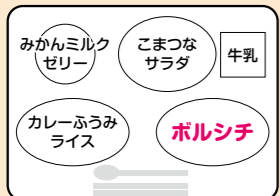
- サラダ油.....小さじ1
- にんにく(みじん).....1/5かけ
- 豚もも肉(1.5cm角).....50g
- 豚肩肉(1.5cm角).....40g
- 塩.....ひとつまみ
- 黒こしょう.....少々
- サラダ油.....小さじ1/2
- 玉ねぎ(1cm角).....中1個
- にんじん(1cm角).....小1/2本
- じゃがいも(1.5cm角).....中2個
- ホールトマト水煮(つぶす).....40g
- マッシュルーム(スライス).....10g
- 水.....160cc
- コンソメ.....小さじ1/2
- ピーツ(1cm角).....中1/8個
- 塩.....小さじ1/4
- 砂糖.....小さじ1/3
- トマトピューレ.....大さじ1と小さじ2
- 中濃ソース.....大さじ1/2
- 茹でたピーマン(1cm角).....1/4個

作り方

- ① サラダ油を熱し、にんにくを炒める。
- ② 豚もも肉と豚肩肉を入れ塩、黒こしょうをふり、炒めて取り出す。
- ③ サラダ油をたして玉ねぎ、にんじん、じゃがいもをよく炒める。
- ④ ③に、つぶしたホールトマト水煮とマッシュルームを加えて炒め、Aを入れ、ひと煮立ちさせる。
- ⑤ ④に②とピーツ、Bを加えよく煮込む。
- ⑥ 最後に、茹でたピーマンをちらす。

レシピ紹介

ボルシチは、世界三大スープの1つといわれています。ボルシチに欠かせない野菜に「ピーツ」があります。「ピーツ」は、鮮やかで濃い赤紫色をしています。給食では、あまりなじみのない野菜ですが、栄養価が高く、ナトリウム、マグネシウム、リン、カリウム、カルシウム、鉄といったミネラル成分の他にもビタミンA、ビタミンC、ビタミンB群が含まれています。寒い冬に、じっくり煮込んだボルシチを食べると体が温まります。



栗原 智子(葛飾小学校 栄養教諭)

【お詫び】
令和3年9月15日付けで発行した「まなびの風」第66号について、訂正を必要とする箇所がありましたので、お詫び申し上げます。訂正箇所は、右記のとおりです。 1面下部(誤) カルフォルニア州 → (正) カリフォルニア州

ひきこもりのお子様のことでお悩みの方は、《ふれあい「夢のふなっこ」》にご連絡ください。
☎047-434-6811 火曜日～金曜日 10時～15時

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

船橋市の音楽教育

船橋市教育委員会では、「船橋の教育2020-船橋市教育振興基本計画」における推進目標として「情操教育の充実」を掲げ、音楽教育の振興に努めています。

子供たちが生涯にわたり、音楽を楽しみ心豊かに生きていくことを目指す音楽教育の様々な取組を紹介します。



市の主催行事

市立学校の児童生徒が参加する市の主催行事は、小・中学校音楽発表会(サマーコンサート)、小・中学校合唱発表会、小・中学校演奏研究会、夢を育む虹のコンサート(音楽優秀校記念演奏会)があります。また、小中学生から大人まで世代や音楽ジャンルを超えて、市内の音楽団体が一堂に会する「音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭」は、市内最大級の音楽イベントです。



音楽発表会(サマーコンサート)



合唱発表会



演奏研究会
特別出演:市立船橋高等学校



夢を育む虹のコンサート(音楽優秀校記念演奏会)



音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭



市の事業

市では、学校の音楽教育の発展のために、様々な事業を行っています。

- **楽器貸与事業**
昭和55年度から始まった事業で、希望した市立学校に楽器の貸与を行っています。
- **学校音楽鑑賞教室事業**
昭和58年度から県と連携し、プロのオーケストラである千葉交響楽団を学校に派遣しています。
- **文化部活動指導員派遣事業**
令和2年度から、市立中学校の文化系の部活動に指導員を派遣しています(運動系の部活動に関する「運動部活動指導員派遣事業」は、令和元年度から行っています)。



音楽鑑賞教室

上記以外にも、合唱団委託事業、音楽教育委託事業、文化活動普及事業などがあります。

※現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止または実施内容を変更している行事があります。

表紙絵 浅田 潤(行田中学校 教諭)

令和3年度 千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組

千葉県教育委員会では、オリンピック・パラリンピック教育（以下「オリパラ教育」）の推進を図る上で、平成29年度に「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針」を策定しました。その中で、オリパラ教育の実践として「目指す児童・生徒の姿」を4つのプロジェクトに整理し、オリパラ教育推進校を中心に、各校の特色や地域の実情に応じてさまざまな取組を行ってきました。本号では、千葉県教育委員会からオリンピック・パラリンピック教育推進校として研究の指定を受けている本市の学校の取組について紹介します。

千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針

オリンピック・パラリンピックを活用した教育の実践として、オリンピック・パラリンピックを通して児童生徒に育みたい教育的価値を、「おもてなし」「心のバリアフリー」「スポーツ」「グローバル」の4つのプロジェクトに整理しました。

目指す児童・生徒の姿

おもてなしプロジェクト

- ボランティアに積極的に参加する意欲をもち、温かいおもてなしができる児童生徒の育成

〈具体的な取組例〉

- 各種イベント等のボランティア活動に参加する体験を通して、ボランティア活動の意義等を理解する学習
- 美化活動（校内外、地域など）やゴミ拾い運動の実施
- 花いっぱい運動

心のバリアフリープロジェクト

- 共生社会の形成者にふさわしい、障害のある人や高齢者等を含めた他者を理解する児童生徒の育成

〈具体的な取組例〉

- バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べ活動を行い、他者理解や共生社会形成を目指す学習
- 道徳等の時間を活用した、オリンピック・パラリンピックアスリートの生き方などの学習

スポーツプロジェクト

- 生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う児童生徒の育成

〈具体的な取組例〉

- 体育や社会（地歴）の時間を通して、オリンピック・パラリンピックの理解を深める学習
- 体育の時間を活用し、オリンピック・パラリンピック競技種目を実施する学習

グローバルプロジェクト

- 自国の歴史伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学び、世界を舞台に活躍する児童生徒の育成

〈具体的な取組例〉

- 外国について調べる学習。発展としてその国との交流をする学習
- 自国の歴史や伝統文化についての学習
- 国旗、国歌の意義や大切さの理解を深める学習

法田中学校



「スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）*の構築」をテーマに、道徳の授業においてオリンピック・パラリンピックに関する題材を取り上げました。

心のバリアフリープロジェクト



「パラリンピアンは日常生活からバリアフリーを考える」というテーマで学び、「バリア」を減らすために自分たちができていることを具体的に考えました。

心のバリアフリープロジェクト



車いすバスケットボールで活躍された選手の講演会です。デモンストレーション、生徒とのシュート対決、そして講話が行われました。

スポーツプロジェクト



世界各国と日本の文化の違いを知り、双方の文化の素晴らしさを認め合う気持ちを育みました。図書室に関連する本のコーナーを作成しました。

グローバルプロジェクト

*インクルーシブな社会（共生社会）とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。（引用：文部科学省 特別支援教育の在り方に関する特別委員会報告 平成24年7月13日）

高根東小学校



昇降口前の花壇に2年生が花の種をまきました。種は、地域の方からいただいたものです。花壇を花でいっぱいにするによって、学校を訪れる方が温かい気持ちになれることを願っています。

おもてなしプロジェクト



新高根・芝山、高根台地域包括支援センターと高根台在宅介護支援センターから講師をお招きし、体験を交えた講話をしていただきました。認知症の方や高齢者との関わり方について理解を深めることができました。

心のバリアフリープロジェクト



オリンピック開会前に、どんな開会式になるかを考えました。開会式で扱われそうな、日本の世界に誇れる伝統文化は何だろうか？という視点から、一人一人予想を立てました。夏季休業明けには、開会式を振り返りながら、答え合わせをしました。

グローバルプロジェクト



東京オリンピック選手村の食堂の様子から「ハラールフード*」を知りました。調べ学習を進める中で、宗教や国の文化の違いに気付きました。今後は、「互いの国の違いを認め合える国際人」を目指す学習を行います。

グローバルプロジェクト

七林小学校



グローバルプロジェクト

7月19日（月）、児童がアメリカ男子体操チームとオンライン交流会を行いました。参加したのは、5年生の27人です。そのときの様子をお伝えします。

交流相手国であるアメリカの国旗と日本の国旗を並べて掲示しました。画面の背景に映るように国旗を掲げ、友好の気持ちを表現しました。



練習会場の様子をオンラインで見学しました。アメリカ男子体操チームの競技レベルの高さと、真剣に練習に取り組む様子が映し出され、児童たちは食い入るように見ていました。



代表児童が画面を通じ、アメリカ代表の選手と交流しました。緊張しながらも英語で話し、しっかりと会話をすることができました。



学級の児童全員で、選手たちにエールを届けました。今回の交流で児童たちは、相手国や体操競技、そして、選手たちにとっても興味をもった様子でした。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後も、オリパラ教育においての多くの実践が引き継がれるとともに、子供たちに無形のレガシー（遺産）として受け継がれることを目指します！